

# 第3回 大学ミッション経営研究会

2015年7月9日に行われた大学のミッション経営を考えるシンポジウム『海図なき大学経営に未来はあるか?』を皮切りに、「大学ミッション経営研究会」をスタートさせることになりました。  
大学のミッション経営の在り方を、各大学の事例研究と専門家による助言を基に1年間かけて共に考えます。  
国公立・私立を問わず、多くの大学関係者の参加を期待します。

- ☑ **大学の中長期計画策定に携わる部署の方、新たに担当になった方**
- ☑ **現在中長期計画に携わってはいるが、あまり成果が感じられず課題感をお持ちの方**

上記のような課題をお持ちの方は是非、ご参加ください。組織からの派遣・個人としてのご参加、どちらも歓迎いたします。

## 第1部 事例紹介

学校法人享栄学園 鈴鹿大学 理事長 垣尾 和彦 氏

## 第2部 事例紹介

学校法人幾徳学園 神奈川工科大学 専務理事 谷村 浩二 氏

【コーディネーター】 本間 政雄 エデュース学校経営研究所 特別首席研究員



日時

2015年

**11月20日 (金) 18:30~20:45**

※ 終了後、懇親会を予定しております (21:00~ 会費制: 1名 3000円)

会場

**中央大学駿河台記念館 5階 570号室** (アクセス: JR中央線「御茶ノ水駅」徒歩3分)

費用

**研究会参加費 2000円/人** (申込制: 定員 先着30名様まで)

お申込方法 | 以下のうち、いずれかの方法でお申込みください。



FAX

▶ 下記のお申込記入欄に必要事項をご記入の上、FAXにて、お申し込みください。

03-3866-3725 (担当: 荻原)



WEB

▶ エデュースのHPからも申し込みが可能です。詳しくはエデュースHPをご覧ください。

エデュース ミッション経営研究会



11/20(金)開催

第3回 大学ミッション経営研究会 申込書

送付先

FAX: 03-3866-3725

エデュース学校経営研究所 宛

(いずれかに○をつけてください)

法人名 (学校名)

情報交換会出欠

情報交換会出席・情報交換会欠席

TEL

役職  
ご芳名

E-mail

大学ミッション経営研究会 今後のスケジュール (予定)

**12/18 (金) 2016年 1/15 (金) 2/19 (金)**

※各回ごとのお申込みとなります。今後の詳細については別途ご案内をお送りいたします。

# 過去開催した「大学ミッション経営研究会」の様子

## 第1回 大学ミッション経営研究会

2015年 9月11日(金) 開催



講演① 基調講演『大学のミッション経営』とは何か？  
エデュース学校経営研究所特別首席研究員 本間 政雄

講演② 事例発表『大学ミッション具現化に向けた経営管理システム』  
学校法人福岡工業大学 常務理事 大谷 忠彦 氏

### 参加者の声

分かりやすい説明でとても参考になった。現在第7次の計画を作っているというのだが、自分たちが遅れていることがはっきり認識できた。

第1回参加  
近畿エリア 総合大学  
本部事務局長

第1部として弊所特別首席研究員本間政雄より、『大学のミッション経営』とは何か？』と題した基調講演が行われました。国立大学が中期計画を求められるようになった経緯に触れ、大学には社会の中で国家・社会・産業界などから与えられる「ミッション」があり、またそれに添えていく存在であることを明確にした上で、どのようにミッションを実現していくかというテーマについて講演を行いました。大学を進みゆく船に例え、目的地(ミッション)は明確か、航海図(中期計画)はあるか、そして経営陣はキャプテンとして・教職員はクルーとして何が求められるか、ご自身の多様な経験や、海外視察で得た知見など具体的な事例を上げながら説明しました。特にクルーの育成、合意形成の取り方などについては、参加者の関心を集めました。

第2部は学校法人福岡工業大学常務理事 大谷 忠彦先生をお迎えし、『大学ミッション具現化に向けた経営管理システム』と題して、福岡工業大学における中期計画策定の事例をご紹介いただきました。平成10年から始まり、今期で第6期目となるマスタープラン(中長期計画)と、その策定方法、それを実現するためのアクションプログラムを通じたPDCAサイクルについてお話いただきました。計画を基にしてこそ実現できる大胆なキャンパスの建て替えなど、学生目線の様々な施策によって志願者を右肩上がりに伸ばしてきた実績をご紹介いただき、参加者からも「刺激を受けた」という声が多く聞かれました。

## 第2回 大学ミッション経営研究会

2015年 10月16日(金) 開催



講演① 事例紹介『立命館におけるミッション経営と意思決定』  
学校法人立命館 東京キャンパス 所長 塩田 邦成 氏

講演② 事例紹介『21世紀の大学に求められる教育の質保証  
～世界最高水準の教育をめざして』  
学校法人玉川学園 理事(高等教育機関担当) 菊池 重雄 氏

### 参加者の声

意思決定や、教員がどのようにかわっていくか、大変勉強になりました。豊富な資料をありがとうございました。

第2回参加  
東海エリア 単科大学  
総務企画部

第1部として学校法人立命館 東京キャンパス所長 塩田邦成様をお迎えし、『立命館におけるミッション経営と意思決定』と題して学校法人立命館の事例をご紹介いただきました。

キャンパス移転・学部新設などで時代の要請に応じていった立命館大学が、どのような中長期計画・意思決定フローの元に施策を実行していったのか。そこには1960年からの第1次長期計画に端を発する「長期計画方式」がミッション経営の核として存在していました。なかでも、参加者から特に印象に残ったとの声が多く聞かれたのは、「全学合意システム(全学協議会システム)」という1950年代から綿々と続く会議体の存在と、そしてそれを維持してきた組織文化についてでした。

第2部は学校法人玉川学園 理事(高等教育機関担当) 菊池 重雄様をお迎えし、『21世紀の大学に求められる教育の質保証 ～世界最高水準の教育をめざして』と題して、玉川大学における教育の質保障についての取り組みを軸に、それを実現するための組織内コミュニケーションについてご紹介いただきました。「Tamagawa Vision 2020」の中で、「グローバル社会に通用する人的資本の形成―質の高い教育の実現」に取り組まれている玉川学園。政策実現のためのマネジメント体制について、「対話の重要性」を指摘し、トップと現場をつなぐMiddle up down方式によるビジョンの伝達や、フェアプロセスの三原則などを通じて、大学改革の実現を支えるコミュニケーションについて解説していただきました。

## コーディネーター 本間 政雄 エデュース学校経営研究所 特別首席研究員

1971年名古屋大学法学部卒、旧文部省入省。London School of Economics修士。旧文部省総務審議官を経て、2001年京都大学事務局長(04年理事・副学長)。07～12年立命館副総長、立命館アジア太平洋大学副学長。13～14年関東学院常務理事。13年～梅光学院理事長。05年大学マネジメント研究会を設立、会長。

エデュース  
eSMI 学校経営研究所  
educa School Management Institute

### アクセス

JR中央・総武線 御茶ノ水駅下車、徒歩3分  
東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅下車、徒歩6分  
東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅下車(B1出口)、徒歩3分  
都営地下鉄新宿線 小川町駅下車(B5出口)、徒歩5分



エデュース学校経営研究所とは…

少子高齢化、人口減少の進展により、学校の経営や組織の在り方は大きな変革が求められています。個々の学校や文部科学省による矢継ぎ早な改革施策が注目される一方、既に変化に取り残され、淘汰をむかえた学校も存在します。

しかしながら、現在の日本の財政は、変化に対応できない学校を救うほど豊かではありません。学校が教育・研究を通じた価値を社会に提供し続けるためには、個々の学校が顧客となる学生・生徒を奪い合うだけでなく、切磋琢磨を通じて顧客を創造し続ける方向に進むしか道はありません。

エデュース学校経営研究所は、16の学校法人の共同出資企業として生まれた「株式会社エデュース」を母体とし、さらなる学校への貢献の具体化として、設立されました。「学校経営を科学する」をモットーに、学校の進化を支える研究機関として活動を展開しています。